

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	身近な物質の化学 (Chemistry of Familiar Materials)	新座(Niiza)	
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	化学的視点で物質の機能や現象の原因を理解する		
担当者名 (Instructor)	宮里 裕二(MIYAZATO YUJI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

- ・化学トピックを分かりやすく説明できるようになる
- ・化学的視点で化学物質の性質や現象を理解できるようになる
- ・学問としての化学と現代社会がどのように関わり合っているのかを理解できるようになる
- ・ Students will become able to explain chemical topics
- ・ Students will become able to understand the nature of chemical substances and chemical phenomena from the chemical viewpoint
- ・ Students will become able to understand how chemistry as a discipline and modern society are related

授業の内容(Course Contents)

我々の身のまわりにある様々な物質あるいは化学現象がどのような性質に基づいて利用されているのかを各回の講義の中で紹介する。また、自身が興味あるトピックについてプレゼンテーション形式で発表してもらう。

We will introduce the properties of various substances and chemical phenomena around us. And students are given tasks of oral presentation on chemical topics you are interested in.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 原子のその成り立ちと物質
3. 化学反応式と化学反応
4. 超分子とよばれる分子
5. 物質の色
6. 光合成と呼吸
7. 薬に利用される化学物質
8. 中間発表会
9. オゾン層を破壊する物質
10. 地球温暖化に影響を与える物質
11. 資源としての化学物質
12. 食品中の化学物質
13. 金属錯体の機能と社会での利用
14. まとめとふりかえり

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回の講義内容について書籍やインターネットなどで概要を調べておくことを薦めます。プレゼン課題(2回)では、調べた化学トピックについて発表してもらいます。日頃からその準備作業を進めて下さい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

講義内容の理解(40%)/講義後の課題への取り組み(30%)/プレゼン課題(中間)(10%)/プレゼン課題(期末)(20%)
如何なる理由に関わらず、欠席回数が4回を超えたらD評価とします

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)